

令和7年度 農作物病害虫	防除対策情報 第2号	令和7年5月14日 秋田県病害虫防除所
-----------------	------------	------------------------

キャベツのコナガ防除を徹底しましょう

～成虫の飛来が早いかつ量が多いため、幼虫の急増が予想されます～

1. 現在までの発生状況と今後の発生予想

キャベツ防除適期決定ほ（能代市）のコナガのフェロモントラップにおける4月28日～5月8日の総誘殺数は791頭で、5月1～2半旬は平年より多かった（表－1）。

予察灯調査（6地点）における初誘殺日の平均は5月2日（平年5月9日）で早く、5月1～2半旬の誘殺数の合計は226頭（平年22.1頭）で多かった（表－2、3）。

5月8日に仙台管区气象台から発表された東北地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は高いと予報されている。

5月上旬の産地巡回調査（山本地域）では幼虫、卵ともに確認されなかったが、今後、幼虫が急増することが予想されるため、ほ場をよく観察し、薬剤防除を徹底する。また、他のアブラナ科野菜についてもコナガの発生が多くなることが予想されるため、十分に注意する。

2. 防除対策

- 1）コナガに効果の高い薬剤を直ちに散布する（表－4）。グレースシア乳剤（RACコード：30）、ブロフレアSC（同：30）、プレバソンプロアブル5（同：28）は2週間程度の残効がある。
- 2）薬剤は必ず展着剤を加用し、葉裏にも十分付着するように散布する。
- 3）散布液量は、生育初期は100～150 L/10 a、生育期～結球期は200 L/10 aを目安とする。

3. 資料

表－1 防除適期決定ほにおける誘殺数(頭)

	4月28～30日	5月1半旬	5月2半旬	計
本年	216	359	216	791
平年	—	18.6	46.3	—
概評	—	多	多	—

表－2 予察灯調査における初誘殺日

	北秋田	五城目	秋田	由利本荘	大仙	湯沢	平均
本年	5/1	5/1	5/2	5/3	5/1	5/9	5/2
平年	5/4	5/16	5/12	5/13	5/6	5/6	5/9
概評	やや早	早	早	早	やや早	やや遅	早

表－3 予察灯調査における5月1～2半旬の誘殺数(頭)

	北秋田	五城目	秋田	由利本荘	大仙	湯沢	合計
本年	30	3	36	31	91	35	226
平年	6.0	1.3	3.8	1.8	6.8	2.4	22.1
概評	多	やや多	多	多	多	多	多

表-4 キャベツのコナガ防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
11A	エスマルクDF ^{*1}	1,000～2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	—
	ゼンターリ顆粒水和剤	2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	—
	チューンアップ顆粒水和剤 ^{*2}	2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	—
	デルフィン顆粒水和剤 ^{*1}	1,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	—
	トアロー水和剤CT ^{*3}	1,000～2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	—
	バシレックス水和剤 ^{*1}	1,000～2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	—
	フローバックDF ^{*1}	1,000～2,000倍	発生初期但し、収穫前日まで	—	—
15	アタブロン乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	4	4
	カスケード乳剤	2,000～4,000倍	収穫7日前まで	2	2
	ノーモルト乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	2	2
	マッチ乳剤	3,000倍	収穫7日前まで	3	3
5	スピノエース顆粒水和剤	5,000倍	収穫3日前まで	3	4 ^{*4}
	ディアナSC	5,000倍	収穫前日まで	2	3 ^{*5}
6	アフーム乳剤	1,000～2,000倍	収穫前日まで	3	3
13	コテツフロアブル	2,000倍	収穫前日まで	2	2
14	エビセクト水和剤 ^{*8}	1,000倍	収穫7日前まで	3	3
	パダンSG水溶剤 ^{*8}	1,500倍	収穫14日前まで	4	4
22A	トルネードエースDF	2,000倍	収穫7日前まで	2	2
28	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで	3	4 ^{*6}
	プレバソンフロアブル5	2,000倍	収穫前日まで	3	4 ^{*7}
30	グレースシア乳剤	2,000倍	収穫7日前まで	2	2
	ブロフレアSC	4,000倍	収穫前日まで	3	3
34	アベンジャーフロアブル	1,000倍	収穫3日前まで	2	2
	ファインセーブフロアブル	1,000倍	収穫3日前まで	2	2

*1: 作物名「野菜類」での登録

*2: 作物名「野菜類(トマト、ミニトマトを除く)」での登録

*3: 作物名「野菜類(パセリ、えごま(葉)を除く)」での登録

*4: 定植前は1回以内、本圃では3回以内

*5: 定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は2回以内

*6: 灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内

*7: 定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内

*8: カルタップを含む農薬(パダンSG水溶剤)とチオクラシムを含む農薬(エビセクト水和剤)を使用する場合、同一作物にはいずれか一方を含む農薬のみを使用する

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-881-3660

秋田県農業試験場 TEL 018-881-3326

掲載HP <https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>